

## 第23回公安委員会定例会開催状況

### 1 開催日時

令和6年9月12日（木）13時30分～17時15分

### 2 決裁事項

#### (1) 免許の取消し等

警察本部から、免許の取消し事案及び欠格期間等の処分について報告を受け、決裁した。

#### (2) 公安委員会規則の一部改正

警察本部から、公安委員会規則の一部改正について報告を受け、決裁した。

#### (3) 特定抗争指定暴力団等の指定期限の延長

警察本部から、特定抗争指定暴力団等の指定期限の延長について報告を受け、決裁した。

#### (4) 交通信号機の新設

警察本部から、交通信号機の新設について報告を受け、決裁した。

### 3 報告事項

#### (1) 合服の着用停止

警察本部から、

- 令和2年に夏服の着用期間を延長したことに伴い、合服の着用期間が4月及び11月の2か月になったことから、合服の着用を停止し、職員の被服に係る保管管理上の負担や被服業務担当者の業務負担を軽減するなどの合理化・効率化を図る。

- 今後、11月から合服着用期間を冬服着用期間に変更するとともに、制服等の素材や仕様について、継続的な改良を図る。

旨の報告を受けた。

委員が、

「体感温度の個人差や勤務形態の違いにも配慮した制服の運用をしていただきたい。

近年の温暖化を踏まえ、合理的な判断であると思う。」

旨を発言した。

#### (2) 重要事件認知・検挙状況（8月）

警察本部から、

- 8月中は、重要事件を13件認知し、不同意性交等事件や建造物等以外放火事件等11件を検挙した。

- 8月末現在の暫定値では、重要事件の認知件数は99件と前年同期比3件減少し、検挙件数は99件と前年同期比2件増加した。
- 検挙率は100.0%で推移している。

旨の報告を受けた。

委員が、

「不同意性交等の性犯罪は、再犯率が高いことから、被害者のプライバシーを保護するとともに、粘り強い捜査により、徹底的に撲滅していただきたい。

県警察の重要事件検挙率は100%であり、犯罪者は必ず逮捕されるということを広報していただきたい。」

旨を発言した。

### (3) SNS型投資詐欺事件被疑者の検挙

警察本部から、

- 被疑者が氏名不詳者と共謀の上、投資名目で現金をだまし取ろうと考え、LINEを利用して被害者と連絡を取り、その後、専用投資アプリを通じて、指定口座に現金を送金すれば利益が得られると誤信させ、被疑者名義口座に現金を振り込ませてだまし取った事件につき、被疑者を逮捕した。
- 本件は、4月に立ち上げたSNS型投資・ロマンス詐欺プロジェクトチームによる初の検挙事件となる。
- 今後、捜査を徹底し、関係被疑者との関係性・犯行グループの実態解明に努める。

旨の報告を受けた。

委員が、

「新NISA制度により投資への気運が高まる中、正しい窓口で手続きを行うよう広報していただきたい。

SNS型投資詐欺事件の実態解明には多大な労力を要すると思うが、今後も、SNS型投資詐欺を行えば逮捕されるということを示していただきたい。」

旨を発言した。

### (4) トライフープ岡山暴力団等排除対策協議会の設立及び選手研修会の開催

警察本部から、

- トライフープ岡山は、今後、人気と知名度の上昇が予想される中、暴力団等の反社会的勢力がチーム・選手に近寄り、ゲーム観戦料等を資金源にもくろむなどの不当要求が懸念されることから、「暴力団等排除対策協議会」を設立し、健全なスポーツチームの運営等を図る。
- B3リーグの所属チームが協議会を設立するのは全国で初となる。
- 協議会の発足式は、9月8日(日)午後3時25分から、イオンモール岡山において開催し、その後、9月13日(金)午前9時から、学校法人朝日医療大学校において、選手及びチームスタッフに対する研修会を実施する。

旨の報告を受けた。

委員が、

「子供たちのためにも、健全なスポーツチームの運営を図っていただきたい。暴力団の手口を共有しておくことが重要であると思う。」

県の政策としてスポーツを推進している中、トライフープ岡山において、暴力団に付け狙われることがないよう協議会が設立できたことは素晴らしいと感じる。」旨を発言した。

(5) 交通事故発生状況（8月）

警察本部から、

- 8月末現在の総事故件数は3万2,543件と、前年同期比255件減少、そのうち人身事故は3,114件と、前年同期比37件減少した。
- 8月中の交通事故による死者は7人で前年同期比1人減少し、8月中に発生した死亡事故は7件中4件が車両単独等一方的過失による事故であり、死者7人中5人が高齢者であった。
- 8月末現在の死亡事故として、車両単独等一方的過失による事故が23件であったほか、歩行者死者が8人であり、高齢者の死者が17人であった。
- 交通事故抑止対策として、県下一斉街頭啓発活動及び交通指導取締りを実施し、交通安全意識の高揚を図ったほか、チャイルドシートの適正利用に向けた広報啓発活動を実施した。

旨の報告を受けた。

委員が、

「歩行者の死亡事故を抑止するため、反射材の着用を積極的に広報していただきたい。悲惨な死亡事故を防ぐため、高齢者の歩行者等、時間的・場所的な問題や対象をある程度絞った集中的な啓発活動が必要であると思う。」

旨を発言した。

(6) 令和6年秋の交通安全県民運動の実施

警察本部から、

- 9月21日（土）から30日（月）までの10日間、令和6年秋の交通安全県民運動を実施する。
- スローガンは「交通ルール 守って笑顔 晴れの国」であり、運動重点は、全国共通として「反射材用品等の着用促進や安全な横断方法の実践等による歩行者の交通事故防止」等3項目、岡山県独自として「横断歩行者優先の徹底」等4項目で、ポスター、チラシのほか、デジタルサイネージやY o u T u b e等のSNSを活用して交通安全情報を配信していく。
- 9月20日（金）に県庁前広場において「秋の交通安全県民運動推進大会」を開催するほか、各地区においても推進大会等を開催する予定である。

旨の報告を受けた。

委員が、

「交差点に警察官を配置して運転者の緊張感を高め、安全運転を習慣付けることにより、交通事故抑止につなげていただきたい。

交通安全県民運動がマンネリ化することのないよう、実施方法を見直しすることも必要であると思う。」

旨を発言した。

- (7) 令和6年度秋季における追加組織・定員改正の概要  
警察本部から、令和6年度秋季における追加組織・定員改正の概要について報告を受けた。
- (8) 人事案件  
警察本部から、人事案件について報告を受けた。
- (9) ストーカー規制法に基づく禁止命令等  
警察本部から、ストーカー規制法に基づく禁止命令等について報告を受けた。
- (10) マイナンバーカードと運転免許証の一体化及びオンライン講習の実施  
警察本部から、マイナンバーカードと運転免許証の一体化及びオンライン講習の実施について報告を受けた。
- (11) 岡山県警察における特定秘密の保護措置等の実施状況  
警察本部から、岡山県警察における特定秘密の保護措置等の実施状況について報告を受けた。
- (12) 警察学校初任科卒業式及び入校式の挙行  
警察本部から、警察学校初任科卒業式及び入校式の挙行について報告を受けた。

#### 4 次回公安委員会

令和6年9月26日（木）13時30分から開催予定